

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月中

株主名簿管理人及び

特別口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社等にお問い合わせください。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
ご注意	未払配当金の支払、支払明細等の発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

公告方法 当社のホームページ(<http://www.dainichi-net.co.jp/>)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

単元株式数 100株

DAINICHI

第48期

中間報告書 (第2四半期)

平成22年4月1日～平成22年9月30日

日本の快適さは、
日本で生まれる。

ホームページのご紹介

<http://www.dainichi-net.co.jp/>

ダイニチ工業

検索



各種IR情報、商品紹介・サポート情報から、バーチャル工場見学まで、充実の内容です。ぜひご覧ください。



株主・投資家様
向けの情報を
随時更新し
ています。

会社の歴史も
詳しく紹介
しています。

株主の皆様へ

当第2四半期の概況

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素より当社に対し格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございます。御礼申し上げます。

当社第48期第2四半期累計期間（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）を終了いたしましたので、ここに事業の概況ならびに決算の状況をご報告申し上げます。よろしくご高覧賜りますようお願い申し上げます。

第48期におきましては、売上高185億円、営業利益16億円、経常利益16億円、当期純利益9億60百万円を見込んでおり、目標の達成に全力で取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年12月



代表取締役会長
佐々木文雄



代表取締役社長
吉井久夫

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、各種の経済政策の効果による個人消費の回復や企業収益の改善により景気は持ち直してきており自律回復の動きが見られました。

一方で、海外景気の下振れ懸念や為替レート・株価の変動などによる景気回復への影響が懸念されました。

こうしたなかにおいて当社は、主力商品であります石油暖房機器におきましては、消費生活用製品安全法等の完全施行に対応して給油時消火装置等を追加搭載し、また付加価値商品の販売を積極的に推し進め、原材料費がアップするなか利益率の改善に努めました。

また、国内生産の強みを活かした供給体制で年々シェアを向上させている加湿器につきましても、新規開発商品をラインナップに加えて全社体制で育成に努めました。

当社は、石油暖房機器が主力であるため、売上は第3四半期会計期間に集中する傾向があり、第2四半期会計期間は販売店への商品導入期にあたります。

この結果、当第2四半期累計期間における売上高は27億74百万円（前年同期比18.1%減）、営業損失は3億55百万円（前年同期比21百万円増）、経常損失は2億73百万円（前年同期比7百万円減）、四半期純損失は1億89百万円（前年同期比32百万円減）となりました。

財務ハイライト



特集

お客様に喜んで使っていただける製品をお届けするために 「ダイニチは国内生産にこだわっています」

ダイニチ工業の製品はすべて新潟で生産されています。

石油暖房機器・加湿器はどちらも冬の限られた期間に販売される商品です。急な天候の変動によって需要が急増したとき、お店に商品がなければお客様の期待に応じることできません。またお店にとっても販売チャンスを逃してしまいます。

お客様の欲しい時にお届けする…。私達は、お店との情報交換を密にし、いつでも増産体制に入れるフットワークのよさ、国内生産ならではの品質のよさに誇りを持ってものづくりをしています。

■販促ツールでも全面的に「日本製」をアピール

日本画家 増田実氏の作品を起用し、暖かさ、快適さ、爽やかさ、力強さなどお客様が持つ品質に対するニュアンスやイメージをアートで美しく、また、日本人が手がける製品の信頼感を表現しました。

製品
カタログ



店頭
POP



ホーム
ページ



■国内生産ならではの気配り…

ダイニチの石油ファンヒーター製造現場をご紹介します

お客様の要望に迅速に応えられるよう、「ハイドーゾ生産方式」。

品切れを起さず、お客様にお届けするために、急な注文でも午前の注文であれば当日出荷することを目標とした、「ハイドーゾ生産方式」。

この実現のためにプロジェクトを発足させ、改善をくり返し、仕入・生産・物流の一体化で迅速に商品をお届けする体制をつくりあげる事ができました。



一台一台、大切に試験を行っています。

石油ファンヒーターは灯油を扱う製品。だからこそ、念入りに大切に試験を行っています。

灯油タンクは、接合部の不具合や穴がないかなどを高い空気圧をかけて全数を検査。また、塗装状態や燃焼状態、エラー・安全装置が正常に動作するかなど十数項目を必ずチェックし、自信の持てる製品だけをお届けしています。



安定した品質をお届けするため、人材育成にも力を入れています。

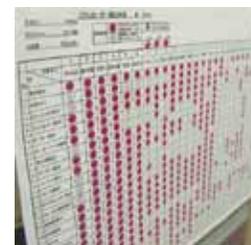
困難作業評価表

各作業ごとのやりにくさを客観的に評価して点数付けし、やりにくい作業の撲滅、作業負担の軽減に努めています。



作業習熟一覧表

複数の作業を担当できるよう、作業者ごとの習熟度を一覧化しスキルアップに努めています。また、作業の機械化も導入を順次すすめており、技術の習得もすすめています。



品質の良さを認められて…

平成21年メーカー別シェアNO.1

【価格.com】プロダクトアワード4年連続入賞!



※株式会社リック調べ
(石油ファンヒーター/台数ベース)



2009年は加湿器・ファンヒーターで金・銀・銅のトリプル受賞となりました。

販売価格やクチコミ情報、ランキングなどの視点から商品を比較・検討できる、お買い物支援サイト「価格.com」。毎年行われるプロダクトアワードでは、4年連続入賞をしています。

財務諸表

貸借対照表

(単位：千円/千円未満切捨)

科目	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
【資産の部】			
流動資産	16,314,680	16,347,294	17,927,613
固定資産	7,621,260	7,294,886	7,026,154
資産合計	23,935,940	23,642,181	24,953,767
【負債の部】			
流動負債	1,896,237	2,213,677	2,359,243
固定負債	1,008,943	952,642	984,303
負債合計	2,905,180	3,166,320	3,343,546
【純資産の部】			
株主資本	21,197,214	20,526,164	21,707,120
評価・換算差額等合計	△ 166,454	△ 50,303	△ 96,899
純資産合計	21,030,759	20,475,861	21,610,221
負債純資産合計	23,935,940	23,642,181	24,953,767

損益計算書

(単位：千円/千円未満切捨)

科目	当第2四半期累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	前第2四半期累計期間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	前事業年度 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
売上高	2,774,762	3,386,562	18,338,359
売上原価	1,778,815	2,284,432	13,417,670
売上総利益	995,947	1,102,130	4,920,688
販売費及び一般管理費	1,351,753	1,436,393	3,409,484
営業利益又は営業損失(△)	△ 355,806	△ 334,262	1,511,204
営業外収益	86,448	78,059	150,452
営業外費用	3,858	24,639	120,599
経常利益又は経常損失(△)	△ 273,216	△ 280,842	1,541,057
特別利益	13,058	911	68,505
特別損失	7,067	48,113	94,875
税引前四半期純損失(△)又は税引前当期純利益	△ 267,226	△ 328,045	1,514,687
法人税、住民税及び事業税	7,500	7,500	598,000
法人税等調整額	△ 85,056	△ 113,554	△ 42,386
四半期純損失(△)又は当期純利益	△ 189,669	△ 221,991	959,073

キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円/千円未満切捨)

科目	当第2四半期累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	前第2四半期累計期間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	前事業年度 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 3,549,781	△ 4,606,965	545,528
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,647,199	△ 901,299	△ 1,593,003
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 319,410	△ 421,421	△ 421,674
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 68	△ 578	△ 235
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 5,516,459	△ 5,930,264	△ 1,469,385
現金及び現金同等物の 期首残高	9,248,624	10,718,009	10,718,009
現金及び現金同等物の 四半期末残高又は期末残高	3,732,164	4,787,744	9,248,624

株式の状況 (平成22年9月30日現在)

株式分布状況

